



早いもので、今年も後1ヶ月となりました。今年は秋になっても暖かい日が続いてましたが、急に気温が下がり体調を崩すお子さんが見られました。園ではこまめな手洗い、うがいを呼びかけ風邪予防をしています。ご家庭でもお子さんの体調管理に十分な配慮をお願いします。また乾燥した部屋に加湿器などの活用をお勧めします。

11月の感染症発生状況

| | |
|-------|----|
| 手足口病 | 9名 |
| 突発性発疹 | 3名 |

その他に咳、鼻水の症状があるお子さんが多くいました。発熱がなくとも普段と違う様子があれば早めの受診を心がけましょう。

インフルエンザと風邪は何が違うの？

風邪は、喉の痛み、鼻水、くしゃみ、咳などの症状が中心で、全身症状はあまりに見られません。
 インフルエンザは、38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など、全身の症状が突然現れます。また、風邪と同様に、喉の痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。
 突然の高熱が出たら病院を受診しましょう。

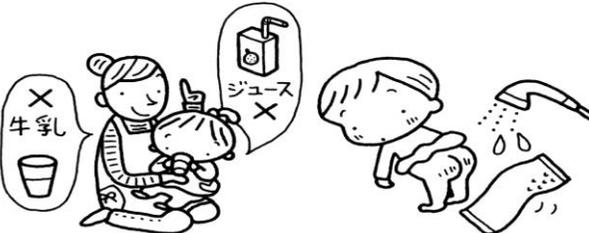
予防接種について

発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症を重症化防止の効果があります。ワクチンは効果を発揮するまでに2週間かかり、半年程度効果が期待できます。体調の良い時に接種しましょう。

冬場に多い おう吐・下痢

この時期、気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、おう吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

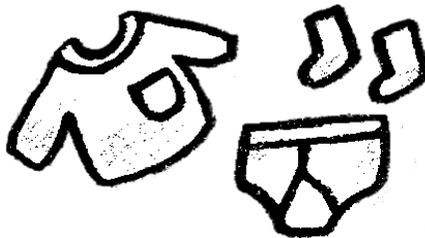
おう吐・下痢のケア



子ども用イオン飲料や湯冷ましを少しずつ、こまめに与える

おしりはこすらずにお湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取る

※保育園では感染症拡大予防のため、嘔吐や便、血液の付いた衣服や布団は洗濯せずにそのままお返しています。
 消毒方法を添付していますので、ご家庭での消毒、洗濯をよろしく願います。



低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれることで起こる「低温やけど」が増えています。痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌が赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意。

応急処置



痛みが和らぐまで流水で冷やす。最低20分くらいは冷やし続け、その後病院へ。

広範囲のやけどは、冷水でぬらしたシーツなどで全身を覆い、シャワーをかける。その後病院へ。